

# 「愛知県果樹農業振興計画」の概要について

## 1 計画の位置づけ

- 「果樹農業振興特別措置法」(昭和36年法律第15号)に基づく県の振興計画で、国の「果樹農業振興基本方針」(2020年4月30日公表)に即して策定。
- 「食と緑の基本計画2025」に係る果樹分野の個別計画であり、県内果樹産地が策定する「果樹産地構造改革計画」の指針となるもの。

## 2 計画期間

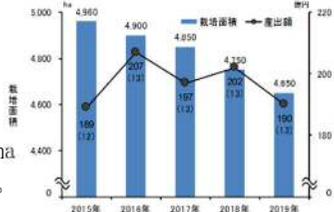
- 2021年度～2030年度の10年間の計画(目標年度:2030年度)
- なお、概ね5年ごとの国基本方針の改正に合わせて見直し。

項目	現状 (2019年)	中間目標		目標	
		(2025年)	現状対比 (%)	(2030年)	現状対比 (%)
栽培面積 (ha)	4,650	4,525	(97)	4,400	(95)
生産量 (t)	51,788	51,089	(99)	50,385	(97)
産出額 (億円)	190	200	(105)	207	(109)

### 本県果樹農業の現状・課題

#### 《生産》

- 本県では、かんきつ類を始め多様な果樹を栽培。生産量日本一のいちじくを始め、ハウスみかんや次郎柿などブランド力を持った産地を形成。
- 2019年の栽培面積は、2015年と比べ約300ha減少。産出額は、近年、200億円前後で推移。



#### 《担い手・産地》

- 販売のあった経営体のうち果樹類の単一経営体数は、2010年には3,093経営体、2020年には2,468経営体(2010年対比80%)に減少。
- 生産構造分析調査結果では、主要6品目の生産農家及び栽培面積は減少する見通し。
- 果樹産地の維持を図るため、基幹経営体の育成に加え、担い手の確保・育成が必要。**
- ブランド品目を中心に本県果樹の生産力・供給力の強化が必要。**

#### 《流通》

- 本県産の果樹の出荷先は、いちじくではその大半が、みかんでは6割が市場出荷。一方、ぶどうでは8割が、なしでは7割が直売等市場外仕向け。
- 品目により重点仕向先が異なるため、各品目の販売先を踏まえ、マーケットインの視点に立った生産・出荷を行うことが必要。**

#### 《消費》

- 果実摂取量は、健康増進の観点から望ましいとされる1人1日当たり200g(厚生労働省)を大幅に下回る(2019年96.4g)。
- いいともあいち運動と連携した地産地消及び食育の推進により、果物を毎日の食生活に欠かせない機能性をもつ品目として定着させていくことが必要。

#### 《果樹を取り巻く情勢》

- 気候変動による高温等により品質が低下。また、鳥獣被害が拡大しており、果実を安定生産・安定供給するための対策が必要。
- OTPP、日EU-EPAの発効を受け対応が必要。一方、輸出拡大のチャンス。**
- 新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に抑え、“新しい生活様式”における消費習慣の変化を踏まえた対応が必要。

### 主な施策の方向

#### 【振興する果樹】

- 主要品目 … うんしゅうみかん、ぶどう、なし、もも、かき、いちじく
- 地域を支える果樹 … その他かんきつ類、くり、うめ、キウイフルーツ、ぎんなん、ブルーベリー (合計12品目)

#### 柱1 果樹経営の強化と担い手の確保・育成

##### 1 果樹経営の強化

- マーケットインの視点により優良品目・品種への転換を推進
- 国事業等を活用し経営基盤を強化**  
(ハウスみかん栽培施設、いちじく雨除け施設の整備)

##### 2 担い手の確保・育成

- 農起業支援センターにおいて就農を支援
- 農業塾等の活動を支援**
- 次世代への農業経営継承を支援**



いちじくの雨除け施設

#### 柱2 果樹産地の生産・供給力の強化

##### 1 高品質・安定生産に資する新品種・新技術の開発と普及

- 高品質・安定生産技術の確立 (ハウスみかんの炭酸ガス施用)
- 労働生産性向上を図る省力化技術の確立 (ぶどうの省力化技術)
- 県オリジナル品種の開発・普及**
- 国事業等を活用し優良品種への改植・新植等を推進**



なし新品種  
「瑞月(愛知梨3号)」

##### 2 果樹産地の維持・強化

- 援農制度等農作業支援者を活用する取組を支援**
- 計画的な集出荷貯蔵施設等の整備を推進
- 3 気候変動適応策・鳥獣被害対策等の推進

#### 柱3 本県産果実の魅力を高め伝える取組の推進

##### 1 ブランド化の推進

- (かんきつ「夕焼け姫」、なし「瑞月(愛知梨3号)」等)**
- 2 環境と安全に配慮した果樹生産の推進
- 3 6次産業化等の推進
- 新たな果実加工品開発の取組を支援**
- 4 輸出等の取組拡大
- 5 食育の推進
- 6 新型コロナウイルス感染症への対応



宝太甘石陽の  
夕焼け姫  
あいちのみかん  
夕焼け姫シンボルマーク

本県の特徴を生かした果樹農業の振興  
魅力とやりがいのある果樹経営の確立